

- ◆フィリップ・バヨン 1947年生まれ。ポーランドの小説家、脚本家、映画・劇の監督。映画芸術の教授、映画制作スタジオ「カドル」所長。数十本の映画や劇を演出し、プラチナ・ライオン功労章やポーランド復興勲章を含む約30の賞を受賞
- ◆マジェナ・ムルズ=バヨン ジャーナリスト、旅行家、写真家。雑誌「ビジネストラベラー」編集長。私生活ではバヨン監督の妻
- ◆ウカシュ・グット 1980年生まれ。ポーランドの映画監督・撮影監督。グディニア・ポーランド映画祭のゴールド・ライオン大賞およびポーランド映画賞を受賞。彼の映画「Broad Peak」は日本のNetflixで視聴できる
- ◆イザベラ・キシユカ=ホフリク 2005年からポーランド映画芸術研究所職員。国際協力部門責任者、映画制作とプロジェクト開発責任者などを歴任、2017年10月から同研究所所長代行

2024 SAPPORO SNOW FESTIVAL 2024 SAPPORO SNOW FESTIVAL 2024 SAPPORO SNOW FESTIVAL

4年ぶりに開催された 第48回国際雪像コンクール (2024/2/3~7)

ポーランド・チーム
出場!

国際雪像コンクールには9か国が参加し、優勝に輝いたのはモンゴル・チームでした。ポーランドは残念ながら表彰台に上がることはできませんでしたが、日本でも評価と人気の高いボレスワヴィエツ陶器になみなみ入ったインクの中で月を釣ろうとしている「クレクス先生」を象った独創性あふれる雪像を制作して、見学に訪れる人々を大いに喜ばせました。



〈左から〉オスミツカ所長&チーム
E・ゲッペルト記念美術アカデミー
(ヴロツワフ市)の3博士たち
アンナ・コウォジェイチク、
ダニエラ・タゴフスカ、
プシエミスワフ・ピンタル
〈右端〉当協会の安藤会長



『クレクス先生のふしぎな学校』のおかげで、クレクス先生はもう日本の子どもたちにもおなじみのキャラクターですね。ヤン・ブジェフファ作のこの児童書は、小椋彩さんの翻訳で2023年に小学館より出版されました。*

(ポーランド広報文化センター所長
ウルシュラ・オスミツカ)

雪像「童話の偉大なるハンター」の解説から

この雪像は、ポーランド童話のユニークな登場人物、クレクス先生を描いたもので、ティーポットの縁に座り、カップ（インクで満たされているのであろう）から笑顔の月を釣り上げて皆に見せています。このポットとカップは、ボレスワヴィエツにある最も有名なポーランド陶器メーカーの製品を基にしています。童話は最も魅力的で美しい世界共通の文化です。



北海道医療大学
ルブリン国立医科大学
交流協定を締結



交流協定締結式にて

北海道とポーランドとの間の協力関係の促進は重要といえます。そこで、私たち(シルヴィアと夫・佐藤)が北海道医療大学に勤務し始めた2016年に、ルブリン国立医科大学歯学部との関係構築を始めました。ルブリン国立医科大学は、ポーランドで最大の国立医科大学の1つに数えられます。医学、薬学、歯学、健康科学などの学部があり、それぞれ専門の医療従事者を育成しています。

この関係構築に関わった全ての人たちの尽力により、北海道医療大学歯学部とルブリン国立医科大学歯学部との間で学部間協定を結ぶことができました。しかし、残念ながら、その直後の新型コロナ感染拡大により共同プロジェクトや学術・学生交流は中断されてしまいました。

そして、2023年に入り、ようやく薬学部との連携拡大を皮切りに交流が再開されました。その結果、2024年3月、薬学部を通じた大学間の協定が結ばれました。今後、他学部も含めた大学レベルでの学生・教職員の連携・交流の拡大が期待されます。

(シルヴィア・オレーヤージュ&佐藤圭史)

* http://hokkaido-poland.com/POLE/POLE109_p14BooksPanKleks.pdf